美術博物館の催し

問い合わせ　美術博物館
☎38-5432/FAX38-5434（〒659-0052 伊勢町12-25）

「GUTAI×INTERNATIONAL　具体、海を渡る。」展
関連イベント

ワークショップ「あたりまえのこと」
■日時　８月２日(土)・９日(土)いずれも午後２時～　■会場　美術博物館内　■講師　堀尾貞治氏(美術家・元「具体美術協会」会員)　■参加費　要観覧料

グタイ　トークサーフィン
■日時　８月10日(日)午後２時～　■会場　美術博物館内　■講師　向井修二氏(美術家・元「具体美術協会」会員)　■参加費　要観覧料

美術博物館

≪観覧料≫
一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料
※(　)内は20人以上の団体料金
※ 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたならびにその介護のかたは各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ　谷崎潤一郎記念館　☎23-5852
FAX38-3244/✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp
（〒659-0052 伊勢町12-15）

【夏の通常展】「谷崎潤一郎・人と作品」
―特設展示「文豪・谷崎と三人の妻」

■会期　９月７日(日)まで
■会場　展示室
■内容　谷崎は生涯に３回結婚しました。貞淑な良妻賢母だった最初の妻、千代。才色兼備な女性記者の２度目の妻、丁未子。そして大阪・船場の御寮人だった最後の妻、松子。特設コーナーでは３度の結婚がどのように作品に影響を及ぼしたのか、遺品や書簡などからお見せします。

谷崎潤一郎記念館

≪観覧料≫一般300円、大高生200円
≪開館時間≫午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)
≪15日以降７月の休館日≫22日(火)・28日(月)

地区集会所ごとの詳しい内容については、市ホームページまたは行政情報コーナーでご覧ください。

集会所トーク 開催日・会場別参加者数

４月14日	月	西蔵集会所	21人
４月16日	水	潮見集会所	25人
４月17日	木	朝日ケ丘集会所	22人
４月18日	金	翠ケ丘集会所	25人
４月21日	月	三条集会所	31人
４月22日	火	前田集会所	21人
４月23日	水	大原集会所	19人
４月25日	金	春日集会所	26人
４月26日	土	奥池集会所	13人
４月30日	水	竹園集会所	21人
５月１日	木	茶屋集会所	22人
５月２日	金	潮芦屋交流センター	29人
５月７日	水	打出集会所	24人
５月９日	金	浜風集会所	68人
合　計			367人

◆◆◆今後のまちづくりにいかします◆◆◆

市民と市長の集会所トーク（報告）

問い合わせ　企画課　☎38-2127

「市民と市長の集会所トーク」は、５月９日に全日程を終了しました。今年度も14カ所で開催し、延べ367人の市民の皆さんにご参加いただきました。
山中市長から平成26年度の主要な施策について説明した後、参加された皆さんとまちづくり全般について意見交換を行いました。(平成26年度の主要な施策は、施政方針として「広報あしや」４月１日号および市ホームページに掲載しています。)
ご参加いただいた皆さんからの市政に対する主なご意見やご要望についての概要と、現在の市の見解をお知らせします。　◇市民の意見・要望　◆市の見解・回答

芦屋市本庁舎

浜風幼稚園について

◇浜風幼稚園を認定こども園にすることについて詳しく説明してください。９園ある幼稚園のうちなぜ浜風幼稚園が選ばれたのでしょうか。

◆かねてから幼稚園で４歳児・５歳児いずれも１クラスといった状況が続いた場合、学校教育審議会において存廃を検討することとしています。また市全体の子育てとして平等に進めていく必要がある中、待機児童の問題など、保育所に預けられないかたがたも多くおられます。その中で、今回は学校教育審議会からの答申を受け、浜風幼稚園を認定こども園とすることで進めることとなりました。他に園児が少ない所として朝日ケ丘幼稚園や精道幼稚園がありますが、浜風幼稚園を選んだのは園舎や園庭の広さのほか、地域の子どもたちがともに育ち小学校につなげることができる望ましい環境にあることなどを考慮したことによるものです。

◇浜風幼稚園が認定こども園となった場合、運営形態を民間で進めていますが、料金の問題や、障がいのある子どもの受け入れ等を考えると、公立の３年保育といった方法もあると思います。それらの問題についてどういった考えで進めているのですか。

◆運営形態を民間で進める理由としては、国・県・市からの助成があることから、私立の認定こども園の方が市の財政的負担が軽くなるためです。これからは全てを公立で運営するのではなく、私立と共存していかなければならない状況です。ただし、民間の運営になっても、今までの教育のよい面を維持できる形で進めます。

子ども医療費について

◇市の借金も減ってきているので、市長の公約である『子どもファースト』を目指して15歳までの子ども医療費無料化を早く実現してほしいです。

◆本市では入院は中学３年生まで、通院は２歳までと、３歳から中学３年生までの低所得世帯のかたは無料化を実施していますが、子ども医療費の分野では近隣市と比べると少し遅れ気味の状況であることは認識しています。今後の財政状況を考慮しながら検討します。

教育関係について

◇高校の学区が変わると聞きましたが、どのようになるのですか。

◆兵庫県は５つの学区になり、芦屋・神戸・淡路が１つの学区になります。今年から受験できる高校の選択肢が広がります。

◇日本の教育は偏差値の影響で、記憶することに重きを置かれていますが、考える力を養うような教育が重要ではないでしょうか。社会に出て役に立つ能力が必要だと思います。

◆英単語を覚えるといったような基本的な知識の部分は必要ですが、それらを応用する力も必要です。今年度は、精道小学校をモデル校としてタブレット端末を導入しました。ＩＣＴ機器を活用した協働学習や発表を充実させるなど新しい授業のあり方について研究を進めます。今後は他の各小・中学校へもタブレット端末の導入を進めます。

高齢者施設について

◇高齢者が入る施設についてですが、要支援や要介護のかたの人数や、今後の推移など、全体的な計画を立てた上で対象者に見合った施設数を確保しないと、今後、施設に入れないかたが多くでてくるのではないでしょうか。

◆介護保険事業計画を立て、特別養護老人ホームやグループホームなど、定員数は増えています。ただし、施設を１つ建てるにしても地域から反対されることもありますので難しいところです。

防災について

◇新聞報道によると、今年の県と各市町の合同防災訓練にアメリカ軍も参加すると聞きましたが、市長はどのようにお考えなのですか。

◆東日本大震災においても、アメリカからの支援は大きいものがあります。アメリカは優れた防災マニュアルを持っていますので、今回の訓練の中でそれを目の当りにすることにより学ぶことがあると思います。災害が起こった際にアメリカからの救助があった場合を想定し、円滑な救助活動のための訓練になると思っています。

◇災害時要援護者の避難対策についてどうお考えですか。

◆個人情報保護の関係から、災害時要援護者の対象となるかたの抽出が難しいところですが、地域の民生委員のかたと市が協力してリストアップしているところです。現在のところはモデル地区を決めて、その中でより良い避難対策に向けた取り組みを進めています。

パイプラインについて

◇パイプラインについていろいろと問題があるのであり方を検討するとのことですが、どういったことを検討するのですか。

◆パイプラインの存廃については、将来的には「芦屋市廃棄物減量等推進審議会」で決定することとなります。今回はその前の段階として、公認会計士・弁護士などの専門家による第三者委員会でコスト比較や運営上の問題などを研究します。その結果をもって審議会で検討していくことになります。

◇パイプラインがあることが不動産購入の動機でした。廃止ありきではなく、利用者による負担も含めて将来について検討してください。

◆急に廃止にするということではありません。芦屋浜のパイプラインは建設から35年、南芦屋浜は15年といった違いもあります。ただ、費用面ではパイプラインのある地域とない地域でのごみ収集に係る費用は、市の直営によるごみ収集と比較すると２倍程度、委託していない場合との比較では５倍程度、パイプラインの方がコスト高になっている現状があります。

カラス対策について

◇カラスが深刻な問題となっています。カラスが多いと景観を損ねることにもなります。

◆カラスも餌場があることから集まりますので、秩序あるゴミの出し方を指導できるよう考えています。ゴミ出しマナーの向上やカラス被害対策について、カラス被害対策検討委員会の中で検討し、カラス対策マニュアルを作成します。

街路樹の剪定(せんてい)について

◇街路樹を剪定しすぎているところがあります。夏になると日陰が少なくなってしまいます。剪定の時期を考慮するなど、もう少し市民目線をもって対応してくれませんか。

◆街路樹の剪定は剪定士の資格を持つ業者にお願いしています。景観のことを考えて４～５年先を見据えた剪定としています。剪定したことで周辺が明るくなったとのお声をいただくこともありますが、ご意見を受けて、今後はより丁寧に対応します。

都市計画道路について

◇稲荷山線は、南北のネットワーク機能が十分でないため必要だと聞きましたが、何より大事なのは道路より市民が住み良いまちであることです。道路を作ることで地域が分断され、住環境を悪くするというのは本末転倒ではないでしょうか。

◆都市計画道路については、県および隣接市等との協議の上、路線ごとに廃止、存続について今年度中に一定の方針が出ますので、その方針に沿って進めていくことになります。稲荷山線については近い将来に着手する状況ではありませんが、必要であることから廃止することはありません。

路側帯のカラー舗装について

◇通学路で路側帯のカラー舗装を進めているとのことですが、カラー舗装されていると歩くところが分かりやすいので、通学路以外も進めてほしいです。

◆まずは「通学路の緊急総点検」で要望のあった路側帯カラー化を優先して進めていきます。今後は「芦屋市交通安全プログラム」において点検を継続し充実を図るとともに駅周辺等人通りの多い道路での路側帯のカラー化を図っていきます。

バス路線について

◇南芦屋浜病院に行くためには一度ＪＲ芦屋駅まで出て乗り換えないといけないなど、南芦屋浜の方に行くためのバスの便数が少なく不便です。

◆阪急バスへは路線の要望はしていますし、改善もしていただいています。今年も引き続き要望していきます。

無電柱化について

◇電線の無電柱化について、民間の力を使うなどして進めてください。

◆平成26年度は芦屋川両岸と霊園参道(さくら参道)の無電柱化に向けて取り組みます。何年かかるか分かりませんが、これから全市無電柱化に向けての元年と考えています。

南芦屋浜について

◇潮芦屋ビーチの中にバイクや車が簡単に乗り入れできて非常に危険です。他に公園内の砂塵や防犯カメラ設置など、県と市の責任範囲の関係でなかなか進まないところがあります。両者で一体的な管理を進めてください。

◆市民の皆さんにとっては、責任範囲については県も市も関係ないと思います。さまざまなご要望について県と連携しながら管理を進めます。

奥池地区について

◇奥池地区は災害時に孤立する可能性がある地域です。宝殿にヘリポートがありますが、高齢化している現状を考えれば救援物資が届いても取りに行くのが困難であると考えます。例えば池に浮かぶことができるヘリを使えるようにするなど、他の対策がないでしょうか。

◆宝殿の他にヘリポートとして適当な場所がないか県に確認しましたが、正式なヘリポートを設置するために必要な条件(一定規模の大きさ、建物が今後も建設されない等)に合った設置場所がないと言われています。ただし、緊急時には正式なヘリポート以外でも対応が可能です。

市の給料・職員数について

◇市職員の給与水準は高いと新聞でも報道されています。これから計画的に下げていくのですか。

◆ラスパイレス指数では全国１位の状態ですが、給与制度等の見直しを行っていますので今後水準が下がる見込みです。ラスパイレス指数が高い理由としては、過去の行政改革により職員数を減らしてきたため、若い世代を管理職に登用せざる得ない状況にあることが原因の１つにあります。

◇職員数が減ってきているとのことですが、市民の要望は多様化し、業務量は増えているのではないでしょうか。職員数を減らせば良いというものではないと思います。職員数と仕事量のギャップをどのようにして埋めているのですか。

◆給料も職員数も減らせば良いというイメージがありますが、決してそうではありません。適正な職員数と人件費を目指しています。業務量は昔に比べると増えていますので、再任用職員や臨時職員等で補っています。また一部の業務については民間委託も行っています。

CATV 広報番組ガイド

7月後半	芦屋市広報番組　あしや トライあんぐる	放送時間(15分)
オープニング	高座の滝	①9:00
トピックス	阪神・淡路大震災20周年事業　第４回芦屋市民フォーラム「住まいの耐震化のすすめ」 展覧会「GUTAI×INTERNATIONAL　具体、海を渡る」&「芦屋の歴史と文化財―むかしむかしのお話―」	②12:00 ③15:00 ④18:00
特　集	合言葉は"リユース"粗大ごみの再利用にご協力を！	⑤22:30
お知らせ	阪神・淡路大震災20周年事業　第５回あしや保健福祉フェア	※ＤＶＤ貸出可
エンディング	芦屋の四季	

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ　広報国際交流課　☎38-2006　■CATV全般に関する問い合わせ　J:COM神戸芦屋カスタマーセンター　フリーダイヤル 0120-999-000

第28回　芦屋市民絵画展作品募集

■会期　９月３日～７日・午前９時～午後７時(最終日は３時まで)　■会場　市民センター301室・302室　■対象　市内在住・在勤・在学の高校生以上のかた　■募集作品　公募展に未発表で自作の日本画・洋画(116.7ｃｍ×90.9ｃｍ・50号以内)。必ず額装し、丸・平ヒモを付けたもの
■出品料　500円(１人１点限り)　■作品受付　８月31日(日)午前10時～午後２時に、市民センター301室で(「出品申込書」に必要事項を記入・提出。「預り証」を発行します。)
■賞　市民絵画展奨励賞(数点)
※寸評会は９月７日(日)午後２時～３時に会場で、同日午後３時～４時に預り証と引き換えに作品を返却。

問い合わせ　市民センター　☎31-4995

関西洋楽の故郷　芦屋で弾く「左手のピアニスト　智内威雄コンサート」

智内威雄と大阪フィル精鋭メンバーとの共演をお楽しみください。

智内威雄(ピアノ)

田野倉雅秋(バイオリン)

渡辺美穂(バイオリン)

近藤浩志(チェロ)

■日　時　９月21日(日)午後３時開演(２時30分開場)
■会　場　ルナ・ホール<全席指定>
■出　演　智内威雄(ピアノ)/田野倉雅秋(バイオリン)大阪フィル首席コンサートマスター/渡辺美穂(バイオリン)大阪フィルコンサートマスター/近藤浩志(チェロ)大阪フィル首席チェロ奏者
■入場料　当日2,000円(前売り1,500円)
■チケット販売所　市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット(Ｌコード　58058)
※７月16日(水)より発売

問い合わせ　ルナ・ホール事業担当　☎35-0700

「芦屋のペット、大集合展」の写真募集

■展示期間　９月10日～20日
■会　場　市民センター展示場
■内　容　飼っている「犬」か「猫」などのペットの写真。１人１枚まで
■応募方法　ペットの写真を、Ａ４か四つ切りまでの大きさにプリントし、裏面に、住所・電話番号・氏名・ペットの名前・種類・コメントがあれば20字までを記入の上、８月29日(金)までに郵送か直接下記へ。

問い合わせ　公民館　☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)